

水道事業評価(令和3年度)						担当課	上下水道総務課
1 事業情報							
目指すべき方向性	強靱	基本政策	3 災害対策の推進	施 策	3-2 危機管理体制の確立	事 業	3-2-4 災害対応の強化

2 事業評価の概要

項目	内容							
基本政策	地震や風水害といった自然災害などにおいて、非常時への備えを強化し、また、一日でも早い安定した日常生活の回復のために、社会基盤を支える企業としての役割を果たします。							
事業目的	市民生活や経済活動に不可欠な重要なライフラインを担う水道事業体として、あらゆる脅威や非常時に対応するため、体制整備を図ります。							
取組内容、数値目標及びスケジュール (単年度)	・新型インフルエンザのほかノロウイルス等感染症に関する情報を収集し、組織内において共有します。 ・感染症予防講習会を実施します。 ・定期的に放射性物質に関する水質検査を実施し、埼玉県の検査結果とともにホームページに掲載します。 ・各浄配水場の自家発電設備の点検を行うとともに、燃料の確保をします。 ・通信機能停止を想定した運転訓練を行うとともに、緊急時対応マニュアルを適宜更新します。							
期間	令和3年4月 ～ 令和4年3月							
予算額 決算額		予算額			決算額			執行率
	単位:千円	総事業費	収益的支出	資本的支出	総事業費	収益的支出	資本的支出	単位:%
	事業費計	549	549	0	242	242	0	44%
	工事費	0			0			
	原材料費	0			0			
	委託料	0			0			
	賃借料	0			0			
	その他	549	549		242	242		44%
	人件費	2,765			2,765			100%

3 中間評価(事業の進捗状況)

執行状況	上半期執行額	106	事業進捗度	B 予定どおりの進捗
	上半期執行率	19%		
進捗状況	・新型コロナウイルス感染症に関する情報を収集し、組織内に周知し、感染予防対策を実施しました。 ・新型インフルエンザ等対策マニュアルに基づき、優先業務の選定を行い、業務の優先リストを作成しました。 ・非常用自家発電設備の試運転を月2回行いました。試運転後に燃料の残量を確認し、必要な量を確保しました。			

4 終了時評価(事業の達成度)

達成状況	・新型インフルエンザ等の感染症に係る情報収集を行い、職員及び委託関係者を対象とした感染症予防講習会を開催し、感染症予防に関する知識の強化を図りました。 ・定期的に放射性物質に関する水質検査を実施し、埼玉県の結果とともにホームページに掲載しました。 ・定期的に非常用自家発電設備の試運転を行い、確実に運転できるような状態を維持し、常に燃料の確保をしました。 ・非常時を想定した配水ポンプの切替訓練を神根浄水場で実施しました。		
事業達成度	B 予定どおり成果を上げた		
事業達成度 C～Eの理由			

5 水道事業ガイドライン業務指標(PI)・独自指標

水道事業ガイドライン業務指標(PI)・独自指標					R1	R2	R3	R4
指標名	感染症予防講習会の実施	単位	回/年	目標値	1	1	1	
算出式・根拠					実績値	1	1	1
指標名	水道水における放射性物質の情報提供	単位	回/年	目標値	4	4	4	
算出式・根拠					実績値	4	4	4
指標名	【PI B610】燃料備蓄日数	単位	日	目標値	0.40	0.4	0.4	
算出式・根拠	平均燃料貯蔵量/一日燃料使用量				実績値	0.47	0.5	0.5
指標名	【PI B608】停電時配水量確保率	単位	%	目標値	78.4	78.4	78.4	
算出式・根拠	(全施設停電時に確保できる配水能力/一日平均配水量)×100				実績値	80.6	78.4	80.6

6 視点評価

視点	評価項目	視点評価	視点	評価項目	視点評価
効率性	投入した事業費に見合った成果を出せたか。	B 予定どおりできた	説明責任	顧客やパートナー企業等の意見や苦情に真摯に対応したか。	B 予定どおりできた
有効性	業務指標等の向上に貢献したか。	B 予定どおりできた	組織学習	事業目的達成のため、組織学習を十分行ったか。	B 予定どおりできた

7 総評価

総合評価	事業を実施する上での課題及び改善方針	今後の実施方針
B 予定どおり成果を上げた	・新型インフルエンザ等対策マニュアルに基づき、職員への感染予防対策を実施し、未発生期においても要員や物品の確保するなどの対策を行います。 ・非常時を想定した訓練を実施し、不測の事態に対応できるように訓練を継続します。	現状維持で継続